

環境審査顧問会風力部会（オンライン会議）

議事録

1. 日 時：令和7年4月16日（水） 14時01分～14時39分

2. 出席者

【顧問】

阿部部会長、岩田顧問、小島顧問、近藤顧問、佐藤顧問、斎藤顧問、水鳥顧問

【経済産業省】

一ノ宮環境審査担当補佐、木全環境審査担当補佐、中村環境審査係長、植田環境審査係長、森江環境審査係長、山崎環境審査係長

3. 議 題：（1）環境影響評価準備書の審査について

合同会社ユーラスエナジー北野沢

（仮称）北野沢風力発電事業更新計画

準備書、補足説明資料、意見の概要と事業者の見解、青森県知事意見、
環境大臣意見

4. 議事概要

（1）開会の辞

（2）環境影響評価準備書の審査について

合同会社ユーラスエナジー北野沢「（仮称）北野沢風力発電事業更新計画」

準備書、補足説明資料、意見の概要と事業者の見解、青森県知事意見、環境
大臣意見についての質疑応答を行った。

（3）閉会の辞

5. 質疑応答

(1) 合同会社ユーラスエナジー北野沢「(仮称)北野沢風力発電事業更新計画」

＜準備書、補足説明資料、意見の概要と事業者の見解、青森県知事意見、環境大臣意見の概要説明＞

○顧問　それでは、本日の審査案件、(仮称)北野沢風力発電事業更新計画、環境影響評価準備書になりますが、審査に先立ちまして、本日御欠席の植物関係の先生からコメントいただいておりますので、先に御紹介させていただきます。それでは、事務局の方、代読の方お願いできますでしょうか。

○経済産業省　はい、承知しました。事務局です。植物関係の先生からコメントいただいておりますので、代読をさせていただきたいと思いますが、すみません、映像上、補足説明資料の25番を開けておいていただけますでしょうか。この25番の補足説明資料に事業者さんの見解を書いておりますが、この見解に対しまして追加のコメントをいただいておりますので、事業者さんにお伝えをしたいと思います。読ませていただきます。

図8.1.5-6重要な群落の分布位置は、御回答のように「a. 文献その他の資料調査」となっていることはその旨記載されているので、そのとおりです。しかし、本図は既に方法書で示した図、準備書1, 101ページの図と同じでありますので、そのことをここで明記しておかないと準備書で新たに作成した図であるかのように誤解される可能性があります。準備書の目的は、現地調査の結果、既存資料から示した方法書の内容が現在は異なっていることを明記することに意味がありますので、図8.1.5-6の図題の修正だけではなく、方法書で示したものであることを明記願います。

というコメントを植物関係の先生からいただいております。以上です。

○顧問　ありがとうございました。では、只今のコメントに関しまして、事業者さんからお答えありましたらお願いいたします。

○事業者　ユーラスエナジーです。よろしくお願いいたします。一次回答でお示したように、評価書の図題を「文献その他資料による重要な群落の分布位置」に修正させていただきます。なお、準備書に示させていただいている内容に関しましても、出典の閲覧日を御確認いただければと思いますけれども、2024年の3月としており、準備書作成時に方法書時点から更新がないかを確認しているものとなっております。ただ、おっしゃるとおり、分かりにくい部分もあるかと思うので、注釈等に方法書で示した旨を追記する等、評価書では少し記載を検討させていただければと考えております。

○顧問 ありがとうございます。文献の資料であるということを明示していただいて、それが分かるようにしていただければということです。よろしくお願いいたします。

それでは、準備書本体、補足説明資料、意見の概要と事業者の見解、知事意見、そして大臣意見出ております。どこからでも構いませんので、御質問、御意見等ございましたら、ほかの顧問の先生方から是非よろしくお願いいたします。挙手ボタンにてお知らせください。水質関係の先生、お願いいたします。

○顧問 補足説明資料の2番を出していただけますでしょうか。ここで既設風力発電機の撤去工事の環境保全措置についてお聞きしました。回答内容は理解いたしましたが、既設撤去工事の方の環境保全対策も非常に重要ですので、評価書ではその辺のところを具体的に記載していただければと思います。これに関連するのですが、1つだけ確認させてください。準備書の16、17ページに改変図があるのですが、この図ですと既設ヤードのところは全て盛土になっており、同じ準備書の27ページを見ると、ここは敷きならしと記載されていて、このヤードに土をざっと敷かれるような計画になっています。全ての既設ヤードが、そのようになっています。その盛土の規模はよく分からないのですが、このように盛土を全面にされているということで、既設ヤードにおいても雨水排水や土砂流出に関して配慮する必要があるのではないかと思います。この辺のところ、事業者の方はどのようにお考えでしょうか。

○事業者 ユーラスエナジーです。御意見ありがとうございます。

まず1点目の評価書において撤去工事の環境保全措置を記載する点に関しましては、他事業におきまして最近記載させていただいているところであること、また、準備書から評価書において具体化していくところも多くなると思いますので、評価書に記載をさせていただければと考えております。

2点目の既設風力発電機の敷きならしにおける濁水対策に関してでございますけれども、今回補足説明資料の3番目に既設風力発電所に沈砂池を設置しておりまして、3ページ、4ページに図面を記載してございます。図面の沈砂池をご確認いただくと、風車ヤードによっては設置していない場所もありますが、既設の側溝もございまして、そちらを通して沈砂池を流れるような形で設置しておりますので、こちらの沈砂池を流用させていただければと考えております。また、今後、詳細な設計をしていくに当たって濁水対策として足りない部分がございましたら、その都度、現場の状況を見ながら濁水対策を適切に取っていったらと考えております。

○顧問 分かりました。そういうことも考えておられるのなら、先ほど申しましたように、既設の撤去工事に係る環境保全対策の中でこの点についても説明していただくとともに、雨水の濁水対策、土砂流出等についても注意していただければと思います。私からは以上です。

○顧問 ありがとうございます。事業者さん、よろしいでしょうか。

○事業者 ありがとうございます。承知いたしました。

○顧問 では、ほかに御質問、御意見ございましたらお願いいたします。魚類関係の先生、お願いいたします。

○顧問 よろしくお願いいたします。本事業とは直接関係ないのですが、ユーラスエナジーさんが手がけられている北海道の苫前のバードストライクの問題なのですが、想定した数よりもはるかに多くの猛禽類が死亡しているということなのです。当然、今後、各事業そういった問題が出てくると思うのですが、今は準備書の段階ですが、推定値について今後どのように考えていかれるか、ちょっと意見をお伺いしたいのですが。

○事業者 ユーラスエナジーです。御意見ありがとうございます。本事業に関しましては、風車ごとの年間予測衝突数を見た際に数値の高い風車もございます。そちらに関しては主に周囲にクマタカの営巣地があったり、オジロワシが飛翔している兼ね合いから高くなっております。準備書では詰められておりませんでしたが、評価書に当たっては風車位置を検討しておりますので、年間予測衝突数を低減できるように検討をさせていただいております。あとは、現状は不確実性が高いと言いますか、環境保全措置として足りない部分もあるかもしれませんが、年間予測衝突数の数値が高い風車に関しましては目玉マークを貼り付けする予定としてございます。また、御指摘いただいた浜里等はスピーカー等も設置させていただいておりますので、こちらも今後検証していった効果があるものなのか、どのようにすれば効果を示すのかを検証していくところになるかなと思います。北野沢に関してはまだ新設風力発電機が稼働するまでに時間もございますので、適宜、本事業にも前例を生かしていけたらと考えてございます。

○顧問 ありがとうございます。今後考えていかれるということですが、確かに、北海道の事例ですと、威嚇音を鳴らしても、結局、何羽かは死んでいたとか、目玉も余り効果がなかったということなので、今後大きな問題になる可能性もありますので、十分な配慮と御検討をお願いいたします。私からは以上です。

○事業者 ありがとうございます。御意見を踏まえながら、事業を検討させていただければと思います。

○顧問 ありがとうございました。今のバードストライクの対策ということですので、事業実施後の稼働の段階で重要になってくると思います。ただ、1事業者1地点だけの問題ではないと思いますので、今後、各事業者さん、場合によっては国の方でも何か技術開発が必要になってくると思いますので、そういったところをこれから検討していく必要があると思います。ありがとうございました。それでは、ほかに御質問、御意見等ございませんでしょうか。では、お手が挙がっていないようですので、私から何点か確認、もしくはコメントさせていただきます。

補足説明資料をお願いいたします。まず補足説明資料の4番をお願いいたします。少し拡大してください。この地点だけではない、ほかの地点もそうなのですが、準備書のチェックリストの方に記載内容について丸をつけるような箇所があると思います。本事業、チェックリストで緑化計画の項目に丸がついていて、一部記載されてはいるのですが、種類については確定していないのでということで書かれておりません。ただ、保全措置の妥当性を検討するのに重要な内容になりますので、できれば、ここの事業者の見解のところで書いていただいたように、記載していただきたいと思います。もちろん、協議によって変わる可能性があるのは理解しておりますので、現地をいろいろ見ていただいた結果、あるいは調査の結果を受けて、まずこの段階でどういうものを想定しているのか、必要に応じて評価書で修正しつつ今後の協議で変更する可能性もあるなどと、一言書いていただければ良いと思います。ここに書かれている、恐らくヨモギやメドハギ等、当該地域に生息する在来種の中から適切なものを選定するという程度のことであれば記載できると思いますので、その辺は明記していただくようお願いできますでしょうか。

○事業者 ユーラスエナジーです。御意見ありがとうございます。他事業でも御指摘いただいている点は承知してございまして、補足説明資料に記載させていただいている内容に関しては、評価書への記載も可能ですし、本事業は青森県に位置しますが、青森県の留意事項としても極力在来種を選定するようにとの御意見もいただいておりますので、今後の案件に関しましては記載の方向で検討させていただければと考えております。

○顧問 ありがとうございます。よろしくお願いいたします。これを傍聴されているほかの事業者さんいらっしゃると思いますので、そこら辺は今後考慮していただければと思います。

補足説明資料の21番お願いできますか。今、ここでは腐食が進んだような死体についてはバットストライクの可能性が不明であったので検討していなかったということなのですが、32番お願いできますか。今後、事後調査が行われると思います。事後調査を行って、その結果を整理して、恐らくバットストライクの蓋然性が高いかどうかをA、B、C等で評価されるのだと思いますけれども、それについては、たとえ可能性が必ずしも高くないというようなサンプルについても、参考として、こういった種の死骸は見つかったけれども、バードストライクについては判定できなかったなど、できる限り種は確定していただいた方がいいと思います。今後DNA解析をやられるとき、現状では腐食の進んだようなサンプルであっても、解析の方法を工夫すれば十分種判定は可能になると思いますので、そこら辺は是非今後事後調査において御検討いただきたいと思います。その辺りいかがでしょうか。

○事業者 ユーラスエナジーです。先生の御意見はごもっともですので、準備書にも、事後調査計画としまして種の同定が不可能である場合に関しては、専門家等に同定をお願いしまして、DNA分析に関しても検討すると記載させていただいております。今後、事後調査において不明種を確認した場合に関しては、DNA解析の実施も含めて考えさせていただければと考えております。

○顧問 ありがとうございます。是非よろしく願いいたします。それから、補足の28番お願いできますか。ここは私の質問が悪かったのか、御回答がずれているようなところがありましたので、もう一度お聞きしたいと思います。28番です。ここではクマタカへの影響とか問題、あるいは現地の状況をお聞きしているのではなくて、準備書の1,019ページ、1,020ページ開いていただけますか。この図はクマタカの採餌行動についてMaxEntで解析された結果だと思うのです。ここで反応・応答曲線を見られていると思うのですが、これを見ますと、一番左上の既設風力発電機からの距離で近いところがピークになっている。要は近いところで採餌行動が多く観察されるという結果になっています。クマタカは、ほかの地点のこれまでのアセス図書等を見ますと、どうも既設の風車を避けているような傾向が多いように思ったのですが、なぜか、ここの地域についてはクマタカが比較的風車の近いところで採餌行動を行っている。この原因は何なのかということについて少し考察していただきたい。その考察結果を評価の中に入れていただきたいということをお願いしたのですが、その理由について何か御検討されましたか。

○事業者 ありがとうございます。日本気象協会です。申し訳ございませんでした。御

質問の理解ができなくて、筋違いな見解を示してございました。今、先生にご指摘いただいたところについてはまだ検討していないところです。もう一度見てみたいと思います。ただ、この付近のクマタカの営巣地が海岸寄りに近いところになっておりますので、どうしても営巣地よりも内陸側と言いましょか、立地的には風車が建っている方向に採餌に行くというような行動が多くなっておりましたので、そういったところもこのような結果になっている理由の1つかなとは考えているところです。今後、もう一度その辺りも検証してみたいと思っております。

○顧問　　今のお答えですと、たまたま風車が建ったところが、そういった内陸の尾根のような地点に建っていたために、ここは半島ですので、地形的影響で海側ではなく内陸側の尾根側を選択した結果こうなった、という恐らく見解だと思います。そういう可能性もないことはないと思います。ただ、その場合は、たまたま地形が影響していたのが、風車からの距離という形で相関が出てしまったということになると思うのですけれども。一方で、もし風車からの距離に本当に何か意味があるのであれば、例えば、クマタカが採餌を好むような環境になっているとか、あるいは餌のような要因が関与しているということがあるのであれば、それは少し考察していただきたいなと思います。もしそういったことが思いつかないのであれば、今のようなコメントにあったようなことを少しかみ砕いて書いていただく必要があるかなと思いますので、その辺り評価書までに御検討いただきたいと思います。よろしいでしょうか。

○事業者　　はい、アドバイスいただきまして、ありがとうございます。その辺りも含めてもう一度現地調査結果の内容も踏まえて検討したいと思っております。

○顧問　　よろしく願いいたします。それから、補足説明資料の29番を開いていただけますか。御回答はこれで結構ですけれども、今日少し時間ありますので、コメントだけさせていただきます。風車の近傍で、風車が稼働したり、あるいは点検等行っても、周りに樹林が残っていてカラ類はさほど影響を受けていなかったのではないかと、既に既設の風車が回っていてもそういった影響を受けていなかったのではないかと思います。実際にほかの場所でも、開発地点、いろいろなものが建っている近傍でカラ類を観察されることはあります。事実でありますし、考えとしてもおかしい御回答ではないかなと思いますけれども、そうしますと、逆に、カラ類は風車の建設でさほど影響を受けにくい種なのかなというのが若干気になるころではあります。ちょうど5年ぐらい前ですかね、典型性という、ほかの道路事業とかの影響もあって、タヌキが非常に多かった時期がありました。

風車でタヌキというのは影響評価をするのに余り適切ではないのではないかなというような意見も多く出ましたので、最近では鳥を中心に、手引の方にもそういったものを検討するようにと書かれています。ただ、どこもかしこも、前例があってやりやすいということでカラ類を選ばれているということはあると思います。1 事業者さんが何かをするというようなことではないのかもしれないですけども、国の検討会でも話題になりまして、風車の影響を見る典型性、現状のような典型性種の選定で本当によいのかどうか少し気になっているところです。上位性に関してはかなり有益な情報を出していただいていますので、十分現在のやり方でよいと思うのですけれども、典型性については、風車の影響、その緩和、もう少しそういったものを検討できるような対象を見ていった方が、あるいは地元への説明とか、いろいろ考えていった方がいいのではないかと個人的には考えています。ここで少しコメントさせていただいて、国あるいは風力発電事業者さん、いろいろ協力して、今後どういった評価をしたらいいのか、考えていくようなきっかけになればと思っております。ということでコメントさせていただきました。余計なことかもしれないですけども、お心に留めておいていただければと思います。それから、最後になりますが、環境大臣意見、開いていただけますか。(2)のところに累積的な影響についての大臣意見が出ております。この準備書の中で拝見したのですけれども、例えば、準備書ですと、919ページから鳥類について、(3)参考という形で書かれているのですが、ほかの風力発電の風車も併せてどういった衝突率になるかを予測はしていただいているのですが、その予測だけで終わってしまっています。それから、1,063ページに景観があるのですが、やはりフォトモンタージュは作っていただいて予測はしていただいているのですが、その予測の結果だけで終わってしまっているのです。ここでの累積的影響の評価についてはどこかに書かれているのかどうかをまず確認させてください。

○事業者 ユーラスエナジーです。図書においては、累積的な影響に関しましては予測にとどめてございまして、評価に関しては記載していない状況になってございます。

○顧問 そうですね。ただ、大臣意見の方では「累積的な影響を考慮した事業計画とすること」とか、あるいは「環境影響の低減を図ること」というコメントが出ておりますので、これについて、この予測結果を受けてどういう低減措置を考えているのか、あるいはこれは必要ないと考えているのか、そこの評価は書かなければいけないのではないかなと思うのですけれども、その辺りいかがでしょうか。

○事業者 現在、累積的な影響の評価を記載させていただいていない理由としまして、

例えば、事業が弊社の事業であれば、もちろんのことながら評価までさせていただくのですけれども、他事業者様の稼働中の風力発電事業も踏まえて評価する場合、他事業者様の方が、影響が大きい予測となった際に、その結果を弊社が評価するに値しないのかなと考えてございます。今回、動物の項目には反映し切れていないのですけれども、例えば、騒音や風車の影に関しましては、指針値や参照値等の基準も併せて記載をさせていただいている状況でございます。あとは、累積的な影響の予測をした結果、指針値や参照値を超える状況になった場合に関しては、予測結果に周りの事業者様と情報共有に努める旨も記載をさせていただいている状況でして、どこまで評価するのはなかなか難しいところではございますけれども、今後、動物の中でも特に鳥類になるかもしれませんが、評価までは行かなくとも、予測結果を踏まえて弊社として今後どういう対応をしたらいいかというところまで踏み込んだ記載も検討させていただければと考えております。

○顧問 地域全体での累積的影響がどう増えるか、これをどうコントロールするかというのは1事業者で多分できる問題ではありませんので、そこについては我々も承知しています。逆に、例えば、たくさん建っている場所にある事業をまた建てるのとすると、やはり累積的影響が増えていく方向にありますので、それに対して少し基数を減らすなり、あるいは配置を変えるなりで、それを軽減することができるのか。建設されるようなほかの事業と、建設するような場所をコントロールできるのかということについて検討していただくということではないかと思います。本件についても、あくまで建て替え事業ですので、これまでに対して、ほかの事業が新たにできる、あるいは現在稼働しているものに対して、それをどうこうしろというような話ではなくて、こちらの事業の方で建て替えに関してはコントロールできる部分は少ないということであれば、その旨記載していただくことが妥当なのではないかと思いますので、やはり評価の記載は必要だと思うのです。予測までしていただいたら。その辺りはいかがでしょうか。

○事業者 そうですね。本来であれば予測評価はセットになっているものなのかなと考えておりまして、評価がなければ、予測結果を踏まえてどういった対応をするのかというところまで踏み込んだ記載にはできておりませんので、今後は予測結果を受けて、弊社としてどのような対応をすべきかとの観点で記載方法は検討いたしますが、評価の結果も記載をさせていただこうかと考えております。

○顧問 ありがとうございます。そうですね、難しいということも1つの結果だと思います。その辺りは包み隠さず書いていただくことがよいのではないかと考えております。

で、評価書では是非工夫して、御記載を御検討いただければと思います。よろしくお願いいたします。

○事業者 ありがとうございます。検討の上、評価書を作成させていただければと考えております。よろしくお願いいたします。

○顧問 私からは以上ですが、ほかに御質問、御意見等ございませんでしょうか。

本件につきましては、更新事業であるということと、風車単機は基本的には大きくなる方向だと思いますけれども、基数もそれほど多くない、事業としても全体で2万いかないぐらいの事業だと思いますので、今後、配慮できるところは十分配慮、ただ、ユーラスさん、この地域では他の事業も手がけておられますので、全体的に見て、環境に配慮して進めていただければと思います。本日いただいたコメント、あるいは事前に補足説明資料等でいただいたコメントを参考にして事業を進めていただく、あとは評価書について少し記載内容を再検討して作成いただくという形で進めていただければと思います。

特に追加でお手が挙がっていないようですので、本件の審査、これにて終了させていただきたいと思います。事務局にお返しいたします。

○経済産業省 先生方どうもありがとうございました。今、先生からおまとめいただいたことを私たち事務局も思っておりまして、先生方からいただいたコメントを踏まえて、次の評価書の方に向かって検討を進めていただければと思っております。それと、最後の累積的な評価、事業者さん、皆さん苦勞されているということもありまして、事務局の方でも、どのように書いたらいいのか、私たちも一緒になっていろいろと検討も、その書きぶり等も相談を受けていきたいと思っておりますので、事業者さん、どうぞよろしくお願いいたします。それでは、先生、このまま事業者さんには評価書に向かって検討を進んでいただくということでまとめを終わらせていただきたいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。

○顧問 はい、それで進めていただければと思います。

○経済産業省 はい、分かりました。では、事業者さん、どうも御説明等ありがとうございました。先生方もありがとうございました。では、これにて本日の審査の方を終了したいと思います。どうもありがとうございました。